

平成 29 年度

学生によるオレンジリボン運動

目白大学 実施報告書



実施主体 オレンジャー

実施内容 11月 24日 高田馬場での啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・オレンジリボン運動や、学生によるオレンジリボンについて学んだ。
- ・配布物を受け取ってもらいやすくなるための工夫を考えた。
- ・駅前での配布許可をもらうために配布計画を立てた。
- ・2016年度作成した配布マニュアルを見直し、昨年の反省を生かし、学び直した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・チラシを三つ折りにし、リボンとお菓子とともに透明の袋に入れた配布物を作成した。
- ・配布マニュアルを読み返し、効果的な配布方法を確認してから配布した。
- ・当日までに打ち合わせを行い、配布方法などを確認した。
- ・話し合っ配布対象者を絞り込んだ。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

- 配布物にお菓子を同封したところ、配布物を受け取ってもらいやすくなった。どの年代をターゲットにするかによってお菓子の種類を変えると効果的である。また、お菓子を入れたことで昨年の課題であった子ども子育て世代の親にも気軽に渡すことができた。
- オレンジリボン運動は何の運動なのかと興味を持って質問してくれた方が何人かいた。自転車を止めてわざわざ話しかけてくださった方もいた。しかし、今年度は運動の内容に関する呼びかけを実施しなかったため、他の通行中の方へオレンジリボン運動の意味を伝えることができなかった。オレンジリボン運動を広めるには呼びかけは必要だった。
- 活動記事を大学のHPに掲載し、より多くの人に知ってもらうようにした。
- 今回の活動を通してオレンジリボン運動を継続させていくことが重要だと実感した。そのため、私たちの代で終わらせず後輩にも引き継いでいきたい。

